

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：あつふる保育園鶴ヶ峰	種別：認可保育所
代表者氏名：高井 直美（第三者評価実施時園長）	定員（利用人数）： 120名(130)
所在地：〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-82-1 ココロット鶴ヶ峰3階	
TEL：045-382-2888	
ホームページ： http://www.sh-aiseikai.jp/nursery/tsurugamine/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2005年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 東京愛成会		
職員数	常勤職員： 20名	非常勤職員： 25名（うち外部委託6名）
専門職員	保育士 29名	看護師 1名
	管理栄養士 1名（外部委託）	調理員 5名（外部委託）
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室7室（うち1室は一時保育室）、地域子育て支援スペース1室、調理室1室、調乳室1室、事務室（医務コーナー含む）	組立式プール、冷暖房、床暖房、熱交換換気扇、屋外遊戯場（園庭）

③理念・基本方針

・保育理念

愛・行動・感謝の理念のもと、一人ひとりを大切にされた保育を展開し子どもの豊かに伸び行く可能性を育む

・保育の基本方針

ハイスコープ教育プログラムを中心に据え主体性を育む保育を柱として子ども達が豊かに生きるための基礎が身につくようにする

・保育目標

「思いやりのある子ども」「心身ともに健康な子ども」「生きる力を持つ子ども」

④施設・事業所の特徴的な取組

ハイスコープ教育プログラムを取り入れています。昨年度から少しずつ導入をしているもので、海外で行っている資料を法人が翻訳しながら整えています。「プラン・ドウ・レビュー」を保育に取り入れ、デイリールーチンに沿って保育を行う、子ども中心で進めるプログラムです。アクティブラーニングを基本に考えています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年9月10日(契約日)～2021年4月28日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	4回(2015年度)

⑥総評

◆特に評価の高い点

・子どもたちはのびのびと言葉で思いを表現し、主体的に園生活を楽しんでいます

保育室は、子どもの動線を考慮して生活しやすいように環境設定されていて、子どもが自分で何をすべきかを理解し、主体的に生活できるようになっています。絵本や製作、音楽、ブロック、ままごとなどのエリアごとにおもちゃや教材などを設置し、子どもが好きな遊びを選び、遊び込めるように設定しています。保育士は、子どもの姿から子どもの思いを汲み取り、子どもが自分の考えを言葉で伝えられるように働きかけています。言葉で自分の思いを上手に伝えられない子どもには、保育士は思いを言葉にして確認したり、「はい」「いいえ」で答えられるような問いかけをしたり、複数の選択肢を示したりしています。このような働きかけの結果、乳児でも自分の思いを素直に表現していて、幼児になると遊びの内容やルールなどを皆で話し合っ決めて、活動後の振り返りをしています。5歳児は、生活発表会の劇の配役、衣装、台詞等を話し合いで決めて、練習も自分達で考えています。観察時の自由遊びでも、子どもたちがブロックで町を作ってごっこ遊びをしたり、廃材でおもちゃを作って友だちと遊んだりとのびのびと遊んでいる姿を見ることができました。

・保育士は、話し合いの機会を多く持ち、目指す保育の実現に向けて連携して取り組んでいます

昨年度から少しずつハイスコープ教育プログラムを取り入れ、法人研修や園内研修で学習を重ねてきました。今年度は、主任を中心として、本格的に保育実践に取り組んでいます。毎日、クラスで話し合っ翌日のデイリープログラムを作成するほか、毎月の乳児・幼児会議、職員会議等で、一人ひとりの子どもの姿について共有し、保育環境や保育内容、子どもへの関わり方などについて検討し、見直しています。このように話し合いの機会を多く持ち、試行・改善を繰り返すことで、目指す保育の姿が共有されつつあり、保育士は、お互いに声を掛け合っ連携して保育にあたっています。

◆改善を求められる点

・中長期事業計画を策定し、単年度の事業計画と連動していくことが期待されます

単年度の事業計画には、重要目標が「今年度の取り組み3本の柱」としてまとめられていて、進捗状況の評価もされています。ただし、中長期事業計画を策定し、中長期的なビジョンを文書化することはされていません。また、運営上の課題について職員会議で周知しているものの、事業計画は保育中心となっていて運営上の課題への取り組みは記載されていません。中期的なビジョンを基に中長期事業計画を策定し、単年度の事業計画と連動させていくことが期待されます。

・保護者が園の保育への理解を深められるような、さらなる取り組みが期待されます

毎月、園だよりやクラスだよりを発行するとともに、連絡帳や掲示で日々の子どもの様子について情報提供しています。ただし、個人面談は希望者のみで、新しく取り入れたハイスコープ教育プログラムについて分かりやすく説明するなどの取り組みも今後の課題となっています。分かりやすい説明の工夫や、個人面談のあり方を見直すなど、保護者の理解を深めるためのさらなる取り組みが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

令和2年度の第三者評価受審が終了致しました。保護者の皆様にはアンケートにご協力頂きありがとうございます。ありがとうございました。

今回の第三者評価結果では、園として日々努力していることを評価頂き、見直し事を気づかせて頂いた事感謝しております。

主体性を育む保育を目標にアクティブラーニングを保育に取り入れてきたことが評価され大変嬉しく思っています。まだハイスコープを始めて時間が経っていませんが、子ども達が主体となるような保育を心掛けています。今後の課題として戸外での遊びを増やし体作りにも力を入れていきたいと思えます。

中長期事業計画においては、法人と相談しながら行っています。

今年度は、コロナ渦で保護者との関わりができず保育園からお伝えすべき事が満足にできなかったと感じています。まだコロナ渦が続いていますが保護者との関わりは工夫をして行っています。園側の思いや考えをうやむやにせず言葉にして発出することは大変重要と考えます。

これからも子ども達、保護者、職員、地域の方々が安心して保育園を利用して頂くため職員一同、より一層の努力をして参ります。

あつふる保育園鶴ヶ峰

園長 高井 直美 (第三者評価実施時園長)

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり